

気になるシミやそばかす!! おまかせください!!レーザーで綺麗な肌に

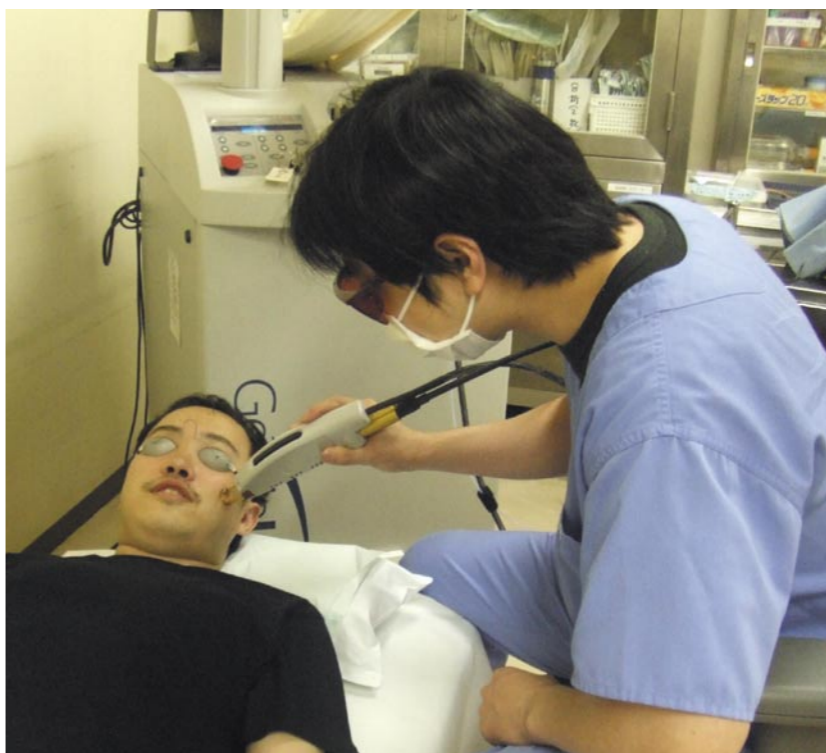


形成外科
医師 今井 章仁

平成十八年七月より形成外科で皮膚のレーザー治療を始めました。

レーザー治療!!

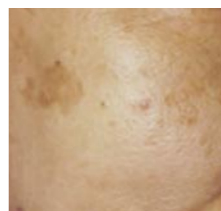
レーザー治療とは皮膚の色元であるメラニン色素に吸収される光で色素を破壊するものです。メラニン色素は黒い毛や皮膚のしみ、そばかすに多く見られ、これを破壊することにより、しみ・そばかすを薄くしたり、ムダ毛を生えづらくしたりする



レーザー治療中!!

ことが出来ます。注意しなければいけないのは、しみの中には、レーザーの効きやすいものや効きづらいものがあることです。また、皮膚のさまざまなできものの中には、しみのように見えて実は皮膚癌の一種であることもあります。レーザー治療を受ける前には、必ず医師の診察が必要です。ムダ毛の脱毛は全身のどの部位でもおこなうことが出来ますが、場所によっては、一度小さな範囲で試

してみても問題がないのを確認してから全体に照射します。十分な脱毛効果を得るためには何度かレーザーをしなければならず時間がかかることも知っておいてください。当院でのレーザー治療は健康保険が適用されないため全額自己負担となります。金額については形成外科外来にてご相談ください。



治療前



治療後



レーザー治療装置

無料がん診療相談支援窓口の開設について

がんはひとりでがんばらない

がん診療拠点病院としての医療機能の充実を図るため相談窓口を開設しました。

相談内容

各種がんに関する一般的な医療情報や療養に関するもの

相談支援日

毎週火曜日
午前九時～十二時まで

相談支援者

地域医療連携室長(外科医師)、ホスピスケア認定看護師

対象

入院・通院しているがん患者さまやそのご家族

相談窓口

本館二階 地域医療連携室

第6・7病棟再編

平成十八年十月一日より、第六病棟・第七病棟の再編を行いました。第六病棟(内科病棟)を廃止し、旧第六病棟と旧第七病棟を合わせて第七病棟として入院患者さまに一人に対して今までよりもゆとりのある環境を目指し努力してまいります。

新任医師・退任医師

- 新任医師(十一月一日)
 麻酔科 伊部 博行
 退任医師(十月三十一日)
 麻酔科 内田 洋介

平成十八年10月1日より医療保険制度が改正!!

- 70歳以上の現役並の一定以上所得者は医療負担が「3割」になります。外来窓口負担割合→3割(現行2割、又は1割負担の該当者のみ)
※新しい受給者証の提示をお願いします。
- 高額療養費の自己負担限度額が変更になります。

【70歳未満の方の自己負担限度額】

所得区分	改正前(平成18年9月まで)	改正後(平成18年10月から)
上位所得者	139,800円+(医療費-466,000円)×1%	150,000円+(医療費-500,000円)×1%
低所得者	35,400円	35,400円
一般	72,300円+(医療費-241,000円)×1%	80,100円+(医療費-267,000円)×1%

【70歳以上の方の自己負担限度額】

入院	所得区分	改正前(平成18年9月まで)	改正後(平成18年10月から)
	現役並み所得者	72,300円+(医療費-361,500円)×1%	80,100円+(医療費-267,000円)×1%
	低所得者	24,600円	24,600円
	一般	40,200円	44,400円

外来	所得区分	改正前(平成18年9月まで)	改正後(平成18年10月から)
	現役並み所得者	40,200円	44,400円
	低所得者	8,000円	8,000円
	一般	12,000円	12,000円

●税制改正によって対象区分が変更になる方は、平成20年7月までの2年間、自己負担額が従前どおり据え置かれます。一部負担金のうち限度額を越えた額は、申請により払い戻されますので、加入している医療保険の保険者又は市町村へお問い合わせ下さい。

……ヒューマンスクランブル……

第一病棟 助産師 和泉 寿子さん

六月から、第一病棟に勤務しています。私は函館出身で、助産師学校を卒業して地元の函館の病院に勤めていたのですが、今年四月に産婦人科がなくなり、縁あってこちらの病院へきました。最初は、こちらの病院の忙しさに驚き、スタッフの動きについていくのが大変で、三ヶ月経ちやうと少しずつ慣れてきたかなと自分では思っているつもりです。

これからも、いろいろな患者さまと出会い、お産に立会い、良かったと思えるようお手伝いできたいいなと思っています。まだまだ未熟ですが、よろしくお願ひします。



放射線科技師 石川 剛さん

四月から放射線科で勤務しています。去年の今頃は大学生をしていたのかと思うと、最近では早寝早起きは自分でも一番の成長した部分ではないかと思ひます。仕事では色々な状態の患者さまを撮影するので毎日驚き戸惑いと勉強の連続です。しかし、沢山の先輩方に教えてもらいながらどうにか頑張っようい写真を撮らうと心掛けています。

これからもずいぶんみなさんに迷惑をかけると思ひますが、その時は何卒広い心をもつていただきたいと思います。どうぞ次第であります。どうぞよろしくお願ひします。

